

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書

平成 22 年 6 月
茨城大学

目 次

I. 中期目標の達成状況

- 1 教育に関する目標の達成状況 1
- 2 研究に関する目標の達成状況 34
- 3 社会との連携、国際交流等に関する目標の達成状況 48

II. 「改善を要する点」についての改善状況 該当なし

I. 中期目標の達成状況

1 教育に関する目標の達成状況

中項目	1 教育の成果に関する目標		
-----	---------------	--	--

小項目番号	小項目 1	小項目	「[教育プログラム] ① 現代社会で活動するための教養教育と総合的な専門教育を展開して、豊かな人間性と全人的素養を培い、高い教養と専門能力を備えた学生を育てる。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 2	小項目	「[教育プログラム] ② 学士課程教育カリキュラムを、卒業後の社会での活動や専門性に適合するよう整備充実する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
下記以外の 中期計画	/		平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画 2 - 5	「○学士課程 [教育プログラム] ⑤ 生命科学や環境科学についての基礎知識・技術を修得させ、卒業後の専門性が発揮できる教育を行う。(農学部等)」		農学部は平成 21 年度に「大学教育・学生支援推進事業」大学教育推進プログラム [テーマ A] 「初年次からの食のリスク管理教育プログラム」が採択され、平成 22 年度にプログラムを実施すべくカリキュラム等の準備と授業科目「食の安全生産販売実習 (食品加工体験を含めた)」のための食品加工施設を整備した (別添資料 2-5-1、p. 1)。

小項目番号	小項目 3	小項目	「[教育プログラム] ③ 科学技術の進歩並びに社会の要請に対応できる課題探求能力を備えた高度専門職業人及び研究者を育成する大学院教育を行う。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 4	小項目	「[教育システム] ④ 教育システムを整備し教育成果の向上を図る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 5	小項目	「[教育改善施策] ⑤ 教育成果の点検・評価を充実させ、教育の質の向上を図る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画 5 - 5	<p>「○大学院課程 [教育改善施策] ⑥ 教育に関する評価結果を担当教員にフィードバックし、FDを実施して教育改善を図る。」</p>		<p>教育改善の一環として、人文科学研究科は平成 21 年 4 月に 4 専攻から 2 専攻へ、理工学研究科博士前期課程では、理学系の 3 専攻を 1 専攻へ、工学系の 1 専攻の内容変更の改組を行い、学生のニーズに対応したプログラムを開始した（後出：別添資料 13-3-1、p. 2）。 平成 21 年度から全ての研究科間及び研究科内でそれぞれ大学院共通科目（2 単位必修）を設定し、研究科や専攻を越えて授業を履修する柔軟な教育体制を構築した（後出：別添資料 13-3-2、p. 2）。</p>

中項目	2 教育内容等に関する目標		
-----	---------------	--	--

小項目番号	小項目 1	小項目	「○学士課程 [入学者受入方針] ① 本学の教育目標に沿って、各学部の入学者受入方針を明確化し、公開する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 2	小項目	「○学士課程 [入学者受入方針] ② 多様な入試方法を策定し、入学者選抜方法の改善を図る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 3	小項目	「○学士課程 [入学者受入方針] ③ 留学生・編入学生・社会人学生等を積極的に受入れ、充実した教育を行う。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 4	小項目	「○学士課程 [教育課程] ④ 各教育組織で理念と目的に沿った体系的な教育課程を構築する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 5	小項目	「○学士課程 [教育課程] ⑤ 入学後も幅広い進路変更を可能とする。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 6	小項目	「○学士課程 [教育方法] ⑥ 効果的教育方法の普及を図る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 7	小項目	「○学士課程 [成績評価] ⑦ 厳正な成績評価を行って教育の質の向上を図る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 8	小項目	「○大学院課程 [入学者受入方針] ① 修士課程においては高度で専門的な職業人を養成することに重点をおき、博士後期課程においては高度で専門的な職業人養成と同時に研究者養成を目的として、各研究科で入学者受入方針を明確にする。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 9	小項目	「○大学院課程〔教育課程〕② 修士課程においては、高度な専門技術者や有資格者、研究者を育成するという設置の目的と就学と就職のニーズに応じて、適切な教育の内容とレベルを設定する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画 13-3	「○大学院課程〔教育課程〕 ⑤ 学士課程教育との有機的な接続に配慮しつつ、適切な教育内容やレベルを設定して、課題探求力を備えた学生を育成する。」	<p>全ての研究科が特色あるプログラムを新たに展開した。</p> <p>人文科学研究科は平成 21 年 4 月に 4 専攻から 2 専攻へ、理工学研究科博士前期課程では、理学系の 3 専攻を 1 専攻へ、工学系の 1 専攻の内容変更の改組を行い、学生のニーズに対応したプログラムを開始した（別添資料 13-3-1、p. 2）。計画 5-5 と同じ</p> <p>平成 21 年度から全ての研究科間及び研究科内でそれぞれ大学院共通科目（2 単位必修）を設定し、研究科や専攻を越えて授業を履修する柔軟な教育体制を構築した。7 科目の授業では、3 キャンパスをバーチャルキャンパスシステム（TV 会議システム）を活用し、開講した（別添資料 13-3-2、p. 2）。計画 5-5 と同じ</p> <p>教育学研究科は平成 20 年度に大学院 GP「地域教育資源開発による高度教育専門職養成」が採択され、プログラムを実施し、「地域理解」を深めながら、大学院生の「教科指導力」および「コミュニケーション力」を育成することができた（別添資料 13-3-3、p. 3）。</p> <p>理工学研究科では文部科学省「平成 20 年度原子力研究環境整備補助金」（原子力コア人材育成事業）の一部助成を受け、原子力工学教育プログラムを開始している（別添資料 13-3-4、p. 4）。</p> <p>農学研究科では、大学院 GP「地域サステイナビリティ実践農学教育」が採択され、インドネシアの 3 大学とプログラムを展開している（別添資料 13-3-5、p. 5）。</p>	

小項目番号	小項目 10	小項目	「○大学院課程〔教育課程〕③ 社会の要請に応える新たな教育プログラムを積極的に構築するとともに、幅広い教育プログラムを提供する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 1 1	小項目	「○大学院課程 [教育方法] ④ 修士課程教育では、学士課程教育との有機的な接続に配慮した教育プログラムを提供する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 1 2	小項目	「○大学院課程 [教育方法] ⑤ 社会人・外国人学生の履修に配慮した、教育システムを整備する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 1 3	小項目	「○大学院課程 [成績評価] ⑥ 適正な成績評価基準と方法を策定し、大学院教育の質を確保する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	3 教育の実施体制等に関する目標		
-----	------------------	--	--

小項目番号	小項目 1	小項目	「[教育実施体制] ① 教養教育をはじめとする学士課程教育を円滑に組織的に実施する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 2	小項目	「[教育実施体制] ② 幅広い教育研究分野の連携体制をつくり、総合力の発揮が可能な教育実施体制を推進する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
下記以外の 中期計画	/		平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画 1 9 - 6	<p>「○大学院課程 [教育実施体制] ① 専攻間で共通の授業内容の調整を行うためのシステムを作り、学際的テーマに対応できる柔軟な教育体制を整える。」</p>		<p>平成 21 年度から全ての研究科間及び研究科内でそれぞれ大学院共通科目（必修）を設定し、研究科や専攻を越えて授業を履修する柔軟な教育体制を構築した。7 科目の授業では、3 キャンパスをバーチャルキャンパスシステム（TV 会議システム）を活用し、開講した（前出：別添資料 13-3-2、p. 2。計画 1 3 - 3 と同じ</p>

小項目番号	小項目 3	小項目	「[教育実施体制] ③ 教育の内容と方法の質的向上を図るため、教員の採用方法を改善するとともに、研修制度を整備する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 4	小項目	「[教育設備等の活用・整備] ④ 教育設備や図書を整備し、教育方法の改善を図る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画 2 1 - 2	「○学士課程 [教育設備等の活用・整備] ⑧ バーチャルキャンパスシステムやインターネットを改善整備し、3 キャンパス間での効果的な教育の実施を図る。」		平成 20 年度及び 21 年度は、学内のバーチャルキャンパスシステム (TV 会議システム) の更新や増設を実施し、遠隔授業設備を充実し、活用した (別添資料 21-2-1、p. 6)。
計画 2 1 - 3	「○大学院課程 [教育設備等の活用・整備] ③ 先端科学技術に関する教育・研究支援拠点を整備し、高度の各種分析機器を効率的に管理・運用し、共同利用の推進と測定サービス等の充実に努める。」		平成 20 年度及び 21 年度には、国の補助金や県の外部資金、さらには学内の資金により、大幅に教育研究設備を改善した (別添資料 21-3-1、p. 7、8)。 計画 4 1 - 1、計画 4 5 - 1 と同じ

小項目番号	小項目 5	小項目	「[教育設備等の活用・整備] ⑤ 情報メディアを活用した先進的方法による教育を行う。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 6	小項目	「[連携した教育] ⑥ 近隣大学及び研究機関との連携や高等学校との連携及び社会人教育に対して積極的に対応する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 7	小項目	「[教育の質の改善] ⑦ 教育成果の点検・評価システムを充実させ、教育の質の向上を図る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	4 学生への支援に関する目標
-----	----------------

小項目番号	小項目 1	小項目	「[相談・助言・支援] ① 多様な学生の要請に対応し、学生に対する学習・生活・相談等の支援・サービス機能の向上と、指導体制の整備を図り、組織的・総合的な学生支援を推進するとともに、点検評価を行ってその改善に努める。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 2	小項目	「[相談・助言・支援] ② 学生への経済的支援を推進する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
計画 2 6 - 1	<p>「[相談・助言・支援] ④ 奨学制度を学生へ周知し、各種の奨学金制度の利用を拡大するとともに、勉学意欲の高い学生に対する経済的支援の充実に努める。」</p>		<p>平成 20 年 12 月に鴨志田邦明様より大学に高額な寄付金の贈呈があり、家計急変により学業の継続が著しく困難と学長が認めた者に奨学金を給付する「鴨志田邦明基金」を創設した。平成 20 年度後期に 2 名(@15 万円)。平成 21 年度前期に 3 名(@15 万円×2 名、@30 万円)に返済の必要がない奨学金を交付した (別添資料 26-1-1、p.8)。</p>

小項目番号	小項目 3	小項目	「[相談・助言・支援] ③ 学生の身体的・精神的健康の維持と増進を図る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 4	小項目	「[相談・助言・支援] ④ キャンパス環境の向上を図る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
計画 28-1	「[相談・助言・支援] ② 学生の学習室及び交流室のスペースを充実し、教室・実験室等の環境の整備充実を進め、学習環境の向上を図る。さらに、学生用図書を充実するとともに、図書館や学習室等の利用時間を延長する。」		平成 20、21 年度には人文学部、教育学部、理学部、工学部は改修工事を契機に学生学習室を大幅に充実した。農学部は独自の努力で充実している（別添資料 28-1-1、p. 9）。図書館と IT 基盤センターは利用時間をさらに延長した（別添資料 28-1-2、p. 9）。
計画 28-2	「[相談・助言・支援] ⑥ キャンパス内バリアフリー化や障害者用施設設備の充実を図り、障害のある学生が利用しやすい環境を整備する。」		建物改修を契機にバリアフリー化を図り、事務局を除くほとんど全ての建物にエレベーターが設置された（別添資料 28-2-1、p. 10）。
計画 28-3	「[相談・助言・支援] ⑦ 各種福利厚生施設の有効な利活用に努め、施設の整備改善を図る。」		平成 21 年度に目的積立金等の学内予算により、農学部体育館新設、水戸地区学生寮改修等を実施した（別添資料 28-3-1、p. 10）。

小項目番号	小項目 5	小項目	「[相談・助言・支援] ⑤ 課外活動への支援を強化する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 6	小項目	「[就職支援] ⑥ 学生の就職支援を推進し、職業観を涵養し、就職意識を啓発する活動を行う。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 7	小項目	「[留学生・社会人支援] ⑦ 留学生に対する支援制度の充実を図る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 8	小項目	「[留学生・社会人支援] ⑧ 社会人学生の学習に特別の配慮をし、修学を容易にする方策をとる。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

2 研究に関する目標の達成状況

中項目	1 研究水準及び研究の成果等に関する目標
-----	----------------------

小項目番号	小項目 1	小項目	「[方向性・重点領域] ① 知的資産の増大に貢献する水準の高い学術研究活動を推進するとともに、研究の重点領域を設定し、地域性と総合性を特色とする研究を推進する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画 33-1	<p>「[方向性・重点領域] ① いくつかの分野で研究拠点となるべき重点研究を育成し、高い水準の研究を行う。」</p>		<p>平成 20 年度にフロンティア応用原子科学研究センターを設立し、大強度陽子加速器の茨城県管理の 2 本の中性子ビームラインの活用を始め、茨城大学の重点研究の拠点として整備した。「県 B I 開発研究部門」では、平成 21 年 3 月に「茨城県生命物質構造解析装置 iBIX」における新型検出器の開発とタンパク質の中性子データ取得に成功し、平成 22 年 3 月に「茨城県生命物質構造解析装置 iBIX」において重水素化された酒石酸水素アンモニウム結晶他 2 件の中性子構造解析に成功した。</p> <p>平成 21 年度には KDDI から引き継いだ大型パラボラアンテナを活用するために、宇宙科学研究教育センターを設置し、整備を開始した。平成 21 年 11 月に 6.7GHz 帯と 8 GHz 帯の 2 偏波(右旋・左旋)冷却受信機とアンテナ制御方式が開発され、太陽からの電波受信に成功した。平成 22 年 1 月にはメーザ一天体の電波を受信し、パラボラアンテナの電波望遠鏡への改造が順調に進められている(別添資料 33-1-1、p11)。</p>

小項目番号	小項目 2	小項目	
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画 3 4 - 4	<p>「[社会への還元] ⑦ 国・地方公共団体・民間企業及び 特殊法人等との間で、共同・受託研 究や連携・交流の機会の増加を図 る。」</p>		平成 21 年度まで順調に共同研究・受託研究を増やしてきており、地域貢献での国内ランクが大 幅に上昇した（別添資料 34-4-1、p.12）。

小項目番号	小項目 3	小項目	「[水準と成果の検証] ③ 研究目的や目標に照らして、評価に耐える研究内容と水準を達成する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
計画 3 5 - 1	<p>「[水準と成果の検証] ⑧ 国際学会や全国的レベルの学会、研究会等における研究発表や、学術誌における論文発表を積極的に行い、研究成果を公開し、当該研究分野の発展に資する。」</p>		<p>平成 20 年度、平成 21 年度に茨城大学研究者情報管理システムに登録された研究成果「著書」、「学術誌論文」、「国際会議論文」の総数は、2,079 件、受賞は 50 件（人文学部 4 件、教育学部 2 件、理学部 1 件、工学部 41 件、農学部 2 件）であった。主な受賞は、「第 15 回 NHK 地域放送文化賞（歴史研究）」、「第 26 回 渋沢・クローデル賞本賞」、「第 31 回 サントリー学芸賞（美術史研究）」、「第 6 回 軽金属功績賞」、「文部科学大臣表彰科学技術賞（研究部門）」、「日本磁気学会学術奨励賞（内山賞）」、「クリタ水・環境科学研究優秀賞」などがある（別添資料 35-1-1、p. 12）。</p>

小項目番号	小項目 4	小項目	「[水準と成果の検証] ④ 研究に関する多面的な評価システムを構築するとともに、外部評価を実施し、研究内容や成果の点検・評価・改善を行う。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	2 研究実施体制等の整備に関する目標		
-----	--------------------	--	--

小項目番号	小項目 1	小項目	
			「[研究者の配置] ① 学術研究の動向や社会の要請に対応して、研究組織を柔軟に編成できる運営体制を作る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 2	小項目	「[研究者の配置] ② 大学院博士後期課程の充実を図る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 3	小項目	「[研究資金の配分] ③ 高度な科学技術の教育と研究を推進し支援するため、競争的研究資金の獲得を促進・支援する体制を作る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 4	小項目	「[研究資金の配分] ④ 研究活動や研究業績の状況を、学内における研究費等の配分に適切に反映させる。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 5	小項目	「[研究設備の整備] ⑤ 研究活動の状況を把握し、研究の質の向上や改善を図るための設備を整備する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画 4 1 - 1	「[研究設備の整備] ⑧ 研究拠点となる高い水準の研究を育成するために、最先端の実験・分析設備を導入し運用する。」		平成 20 年度及び 21 年度には、国の補助金や県の外部資金、さらには学内の資金により、最先端の研究設備を多数導入、整備した（前出：別添資料 21-3-1、p7、8）。「計画 4 5 - 1」と同じ。
計画 4 1 - 2	「[研究設備の整備] ⑨ 高度の研究を推進し支援するために各教育研究施設の充実と施設間の密接な連携を図る。」		地球変動適応科学研究機関(ICAS)を軸に、学内全ての学部の教員が関わって、総合的にサステイナビリティ学の研究が進められ、社会的に大きな影響を与えている。ICAS は防災・適応技術（第 1 部門）、気候変動適応型農業開発（第 2 部門）、生活圈計画・適応政策（第 3 部門）の 3 つの部門構成で研究を進め、研究成果は、国際的には、IPCC 第 4 次報告書(2007)や地球変動研究アジア・太平洋ネットワーク (APN) などの国際会議に反映され、IPCC の 2007 年ノーベル平和賞受賞に貢献した。また、国内でも、気候変動への適応という新しい政策分野の必要性を提起し、社会的に大きな影響と反響があった。その結果、ICAS は国内外で気候変動適応の主要な研究機関と認知されるに至っている。 フロンティア応用原子科学研究センターを設立し、理系 3 学部が協力して、活発に研究を開始した。「県 B L 開発研究部門」では、平成 21 年 3 月に「茨城県生命物質構造解析装置 iBIX」における新型検出器の開発とタンパク質の中性子データ取得に成功し、平成 22 年 3 月に「茨城県生命物質構造解析装置 iBIX」において重水素化された酒石酸水素アンモニウム結晶他 2 件の中性子構造解析に成功した（別添資料 41-2-1、p. 12～14）。

小項目番号	小項目 6	小項目	「[研究設備の整備] ⑥ 情報の総合的管理と活用を図り、情報セキュリティを確保する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 7	小項目	「[研究設備の整備] ⑦ 図書資料の充実と利用環境の改善を図る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 8	小項目	「[知的財産管理の整備] ⑧ 知的財産の管理及び技術移転のための組織を整備し、研究成果の社会への還元を推進する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
計画 4 4 - 1	<p>「[知的財産管理の整備] ⑩ 社会の要請にしたがって企業と共同研究を展開し、本学のシーズを社会に提供する。また、本学の知的財産の創成と管理及び活用を図る拠点として知的財産管理部を形成する。」</p>		<p>平成 19 年度までの取組等を引き続き継続して実施するとともに、平成 21 年度に共同研究開発センターとベンチャービジネスラボラトリーを統合し、知的財産の創成と社会への還元のための基幹組織として再編・強化した（別添資料 44-1-1、p. 15）。</p>

小項目番号	小項目 9	小項目	「[共同研究] ⑨ 学内共同教育研究施設の整備充実を図る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
計画 4 5 - 1	<p>「[共同研究] ⑩ 先端科学技術に関する研究支援拠点として学内共同教育研究施設を整備し、密接な連携を図って、共同利用の推進に努める。」</p>		<p>※「計画 4 1 - 1」と同じ。</p>

小項目番号	小項目 1 0	小項目	「[共同研究] ⑩ 学外の研究組織との研究連携や技術協力を推進支援する体制を整備する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

3 社会との連携、国際交流等に関する目標の達成状況

中項目	1 社会との連携、国際交流等に関する目標		
小項目番号	小項目 1	小項目	「[地域との連携] ① 教育及び研究における社会サービスを積極的に推進する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
計画 47-1	<p>「[地域との連携] ① 地域貢献を本学の重要施策の一つとし、地域貢献を目的とする教育研究を充実し、成果を社会へ還元する。地域貢献と地域連携の拠点となるよう本学を整備する。」</p>		<p>日本経済新聞社の「全国大学の地域貢献度ランキング」で平成 20 年度 11 位、平成 21 年度 14 位となった（前出：別添資料 34-4-1、p. 12）。</p>

小項目番号	小項目 2	小項目	「[地域との連携] ② 地域貢献・地域交流の組織的・総合的な取り組みを推進する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 3	小項目	「[産学連携] ③ 社会の要請を汲み上げた研究を展開し、社会にシーズを発信する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 4	小項目	「[産学連携] ④ 産業振興・環境保全に貢献し社会の健全な発展に寄与する研究を推進する。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 5	小項目	「[他大学との連携] ⑤ 他大学や外部研究機関と協力して地域課題を解決するため組織的連携を図る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 6	小項目	「[留学生等交流] ⑥ 国際的な大学間学生交流・学術交流の推進を図る。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 7	小項目	「[留学生等交流] ⑦ 留学生や外国人研究者を積極的に受入れる。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目 8	小項目	「[国際貢献] ⑧ 国際的共同研究に取り組むとともに、国際社会の要請に応える研究の構築と人材養成への協力を強める。」
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			平成 19 年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

Ⅱ. 「改善を要する点」についての改善状況 (該当なし)